

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-214937  
(43)Date of publication of application : 27.08.1996

(51)Int.Cl.

A45D 40/00  
// A61K 7/02

(21)Application number : 07-068532  
(22)Date of filing : 17.02.1995

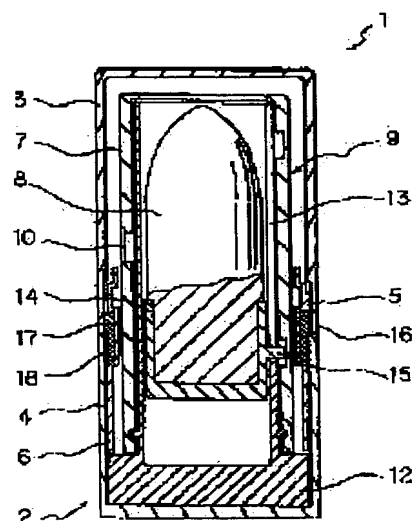
(71)Applicant : TAKEUCHI KOGYO KK  
(72)Inventor : SATO TAMON  
AMANO TAKETO

## (54) CONTAINER FOR LIPSTICK, ETC.

### (57)Abstract:

PURPOSE: To provide a container for a lipstick, etc., which enables to seal itself efficiently with less parts without the sacrifice of design and pushing torque and which enables to prevent the parts from being decomposed.

CONSTITUTION: In a container for a lipstick, etc., by which cosmetics such as a lipstick are moved up and down by rotating a lower part member 4 and a cylinder member 7, a ring-shape packing member 16 made of a soft material is used which is composed of an upper air-tight part 17 formed in a shape in tightly contact with the inside face of a cap 3 protruding upward more than the lower part member 4, and a ring-shape packing member 16 made of a soft material and composed of a lower air-tight part 18 to seal a gap between the lower part member 4 inserted and fixed between the lower part member 4 and a cap engaging member 6.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.02.2002  
[Date of sending the examiner's decision of rejection]  
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]  
[Date of final disposal for application]  
[Patent number] 3703035  
[Date of registration] 29.07.2005  
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]  
[Date of extinction of right]



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-214937

(43)公開日 平成8年(1996)8月27日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 5 D 40/00

A 4 5 D 40/00

T

// A 6 1 K 7/02

A 6 1 K 7/02

T

審査請求 未請求 請求項の数5 書面 (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平7-68532

(22)出願日 平成7年(1995)2月17日

(71)出願人 000210573

竹内工業株式会社

東京都墨田区八広2-59-2

(72)発明者 佐藤 多門

東京都墨田区八広2-59-2 竹内工業株式会社内

(72)発明者 天野 武人

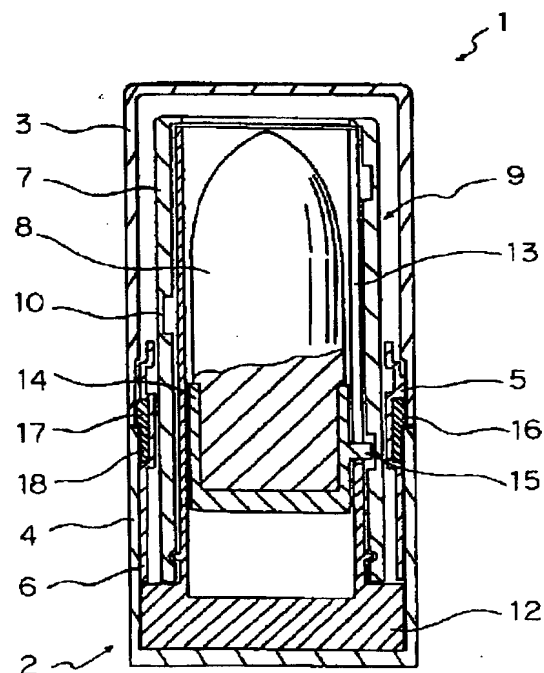
東京都墨田区八広2-59-2 竹内工業株式会社内

(54)【発明の名称】 口紅等の収納容器

(57)【要約】

【目的】 口紅等の収納容器でデザイン、あるいは繰り出しトルクを阻害することなく少ない部品で効率よく容器の気密を保つことができ、さらに部品の分解も防止することができる。

【構成】 ハカマ部材4と筒部材7を回動させる事によって口紅等の化粧品を出没させる口紅等の収納容器において、ハカマ部材4よりも上方に突出するキャップ3内面に密接する形状に形成された上部気密部17と、ハカマ部材4とキャップ嵌合部材6の間に挿入固定されハカマ部材4とキャップ嵌合部材6の間を密閉する下部気密部18から構成される軟質材で形成されたリング状のパッキン部材16を使用することで構成している。





## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ハカマ部材4と、このハカマ部材4に嵌合固定された上部にキャップ嵌合部5が形成されたキャップ嵌合部材6と、前記ハカマ部材4内に下端部が挿入され上端部が前記キャップ嵌合部材6よりも上方に突出する筒部材7と、この筒部材7内に上下移動可能にとりつけられた口紅等を支持する皿部材14と、前記ハカマ部材4と筒部材7を回動させることにより前記皿部材14を上下移動させることができる上下移動機構9と、前記筒部材7の上部を覆うキャップ3とから構成される口紅等の収納容器において、前記ハカマ部材4よりも上方に突出し前記キャップ3内面に密接する形状に形成された上部気密部17と、前記ハカマ部材4とキャップ嵌合部材6の間に挿入固定されハカマ部材4とキャップ嵌合部材6の間を密閉する下部気密部18から構成される軟質材で形成されたリング状のパッキン部材16を備えたことを特徴とする口紅等の収納容器。

【請求項2】 パッキン部材16Aの上部気密部17Aとキャップ嵌合部材6の間には空隙19が形成されていることを特徴とする請求項1記載の口紅等の収納容器。

【請求項3】 パッキン部材16の下部気密部18と対応する部位のキャップ嵌合部材6A外面には、パッキン部材16の抜脱を防止する凸リブ20が形成されていることを特徴とする請求項1記載の口紅等の収納容器。

【請求項4】 パッキン部材16Bの下部気密部18Aには内方に突出する複数の凸状部21が形成され、さらにキャップ嵌合部材6Bの前記凸状部21と対応する部位には係止穴22が設けられていて、この係止穴22に凸状部21が挿入されていることを特徴とする請求項1記載の口紅等の収納容器。

【請求項5】 凸状部21Aは筒部材7まで達し、筒部材7を摺接することを特徴とする請求項4記載の口紅等の収納容器。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は口紅、リップクリーム、スティックアイシャドウ等の化粧品収納容器で、内容物が気密を必要とする収納容器に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来の口紅等の収納容器はハカマ部材と、このハカマ部材に嵌合固定された上部にキャップ嵌合部が形成されたキャップ嵌合部材と、前記ハカマ部材内に下端部が挿入され上端部が前記キャップ嵌合部材よりも上方に突出する筒部材と、この筒部材内に上下移動可能にとりつけられた口紅等を支持する皿部材と、前記ハカマ部材と筒部材を回動させることにより前記皿部材を上下移動させることができる上下移動機構と、前記筒部材の上部を覆うキャップとから構成されていた。

【0003】さらに上記のような口紅等の収納容器の気密状態を保つ手段としては、気密用パッキンとしてキャ

ップ内面に軟質材で成形された部材を挿入したり、ゴムのOリング等を随所に使用するという手段が用いられていた。

## 【0004】

【本発明が解決しようとする課題】解決しようとする課題は、以上のような手段においては十分な気密が保てなかったり、デザイン上見苦しいものとなったり、口紅繰り出しの調子を悪くしてしまうと言う点である。さらにこれらの課題を解決する為にいたずらに部品を追加して容器のコストを上昇させてしまったり、追加した部品が収納容器から脱落し易いという点である。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、本発明はハカマ部材と、このハカマ部材に嵌合固定された上部にキャップ嵌合部が形成されたキャップ嵌合部材と、前記ハカマ部材内に下端部が挿入され上端部が前記キャップ嵌合部材よりも上方に突出する筒部材と、この筒部材内に上下移動可能にとりつけられた口紅等を支持する皿部材と、前記ハカマ部材と筒部材を回動させることにより前記皿部材を上下移動させることができる上下移動機構と、前記筒部材の上部を覆うキャップとから構成される口紅等の収納容器において、前記ハカマ部材よりも上方に突出し前記キャップ内面に密接する形状に形成された上部気密部と、前記ハカマ部材とキャップ嵌合部材の間に挿入固定されハカマ部材とキャップ嵌合部材の間を密閉する下部気密部から構成される軟質材で形成されたリング状のパッキン部材を備えたという手段を用いている。

## 【0006】

【作用】上記のように構成された口紅等の収納容器は、キャップを閉めた際にはパッキン部材の上部気密部がキャップ内面に密接することにより容器上部の気密状態を保つことができる。さらにパッキン部材の下部気密部がパッキン部材が収納容器から脱落するのを防止するとともにキャップ嵌合部材とハカマ部材の間を密閉する事により容器下部の気密状態を保つことができる。

## 【0007】

【発明の実施例】以下、図面に示す実施例により発明を詳細に説明する。ただし、図面は解説の為のものであって、発明の範囲を限定するものではない。

【0008】図1ないし図4に示す発明の第1の実施例において、1は口紅等の収納容器で、この口紅等の収納容器1は口紅収納容器本体2と、この口紅収納容器本体2と着脱自在に嵌合するキャップ3とから構成されている。

【0009】この口紅収納容器本体2は、ハカマ部材4と、このハカマ部材4の上部に嵌合固定された、上部にキャップ嵌合部5が形成されたキャップ嵌合部材6と、前記ハカマ部材4内に下端部が挿入されキャップ嵌合部材6よりも上部まで達する筒部材7と、この筒部材7と



ハカマ部材 4 とを回動させる事によって内蔵された口紅等の棒状化粧品 8 を筒部材 7 の上端部より出沒可能とする上下移動機構 9 とから構成されている。

【0010】この上下移動機構 9 は、筒部材 7 とこの筒部材 7 の内部に形成された螺旋溝 10 と、前記筒部材 7 を回動可能ではあるが抜けだし不能に係止し、底部がハカマ部材 4 内に立設固定された内筒部材 12 と、この内筒部材 12 の前記螺旋溝 10 と対応する位置に形成された軸心方向の切り割り溝 13 と、内筒部材 12 内に形成された口紅等の棒状化粧品 8 を支持する皿部材 14 と、この皿部材 14 に形成された前記内筒部材 12 の切り割り溝 13 および筒部材 7 の螺旋溝 10 と係合する係合ピン 15 とから構成されている。

【0011】16 は前記ハカマ部材 4 とキャップ嵌合部材 6 の間に抜け出し不能に係止されたパッキン部材で、このパッキン部材 16 はゴム、軟質プラスチック等の軟質材で形成されたもので、上部気密部 17 と下部気密部 18 より構成されたリング状をしている。

【0012】前記パッキン部材 16 の上部気密部 17 はハカマ部材 4 より上方に突出するように位置し、キャップ 3 を閉めた際にはキャップ 3 の内面に密接する形状に形成され、キャップ 3 とキャップ嵌合部材 6 の間を気密状態に保つことができるように作用している。

【0013】前記パッキン部材 16 の下部気密部 18 はハカマ部材 4 とキャップ嵌合部材 6 の間に挿入固定され、ハカマ部材 4 とキャップ嵌合部材 6 の間の気密状態に保つことができるように作用している。さらにハカマ部材 4 とキャップ嵌合部材 6 の間に挿入固定される事によって口紅収納容器本体 2 より脱落することを効率よく防止している。

【0014】このように構成された口紅等の収納容器 1 はパッキン部材 16 の上部気密部 17 の作用によって口紅等の収納容器本体 2 とキャップ 3 との間を効率よく気密状態とし、またハカマ部材 4 とキャップ嵌合部材 6 との間も下部気密部 18 の作用によって気密状態とする事ができる。

#### 【0015】

【発明の異なる実施例】次に発明の異なる実施例につき説明する。なお、これらの説明にあたって前記発明の第 1 の実施例と同一構成部分には同一符号を付して重複する説明を省略する。

【0016】図 5 および図 6 に示す発明の第 2 の実施例において、前記発明の第 1 の実施例と主に異なる点は、パッキン部材 16 A の上部気密部 17 A とキャップ嵌合部材 6 の間に空隙 19 を形成した点である。

【0017】この空隙 19 はパッキン部材 16 A の上部気密部 17 A により柔軟性を持たせるように作用し、キャップ 3 を閉めた際に気密と共にキャップ 3 の嵌合値を安定させるように作用させることができる。このような構造とした口紅等の収納容器 1 A としても良い。

【0018】図 7 および図 8 に示す発明の第 3 の実施例において、前記発明の第 1 の実施例と主に異なる点は、パッキン部材 16 の下部気密部 18 と対応する部位のキャップ嵌合部材 6 A 外面に、パッキン部材 16 の抜脱を防止する凸リブ 20 が形成されている点で、このような構造とすることによってパッキン部材 16 が口紅収納容器本体 2 より脱落することをより効果的に防止することができる。このような構造とした口紅等の収納容器 1 B としても良い。

10 【0019】図 9 ないし図 11 に示す発明の第 4 の実施例において、前記発明の第 1 の実施例と主に異なる点は、パッキン部材 16 B の下部気密部 18 A に内方に突出する複数の凸状部 21 が形成され、さらにキャップ嵌合部材 6 B の前記凸状部 21 と対応する部位には係止穴 22 が設けられていて、この係止穴 22 に凸状部 21 が挿入されるようにした点で、このようにパッキン部材 16 B を係止する構造とする事によってパッキン部材 16 B が口紅収納容器本体 2 より脱落することをより効果的に防止することができる。このような構造とした口紅等の収納容器 1 C としても良い。

20 【0020】図 12 ないし図 14 に示す発明の第 5 の実施例において、前記発明の第 4 の実施例と主に異なる点は、パッキン部材 16 C の下部気密部 18 A の凸状部 21 A で、この凸状部 21 A は前記筒部材 7 まで達し、筒部材 7 を緩やかに摺接するようにした点で、このように凸状部 21 A が筒部材 7 を摺接する事によって繰り出しの回転トルクを均一なものとするように作用させることができる。このような構造とした口紅等の収納容器 1 D としても良い。

30 【0021】以上の説明では上下移動機構 9 は、内筒部材 12、切り割り溝 13、螺旋溝 10、係合ピン 15 を使用する構造について行ったが、本発明はこれに限らず、従来から使用されている口紅等の収納容器のハカマ部材 4 と筒部材 7 を回動させる事によって口紅等の棒状化粧品 8 の繰り出しを行う上下移動機構であれば何でも良い。

#### 【0022】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されているので、以下に記載するような効果を奏する。

40 【0023】(1) 口紅等の棒状化粧品の繰り出しを行う上下移動機構をもった口紅等の収納容器において、前記ハカマ部材よりも上方に突出する前記キャップ内面に密接する形状に形成された上部気密部と、前記ハカマ部材とキャップ嵌合部材の間に挿入固定されハカマ部材とキャップ嵌合部材の間を密閉する下部気密部から構成される軟質材で形成されたリング状のパッキン部材を備えたので、デザイン上見苦しいものとは成らず、さらに口紅繰り出しの調子を悪くするというのを効率よく防止することができる。

50 【0024】(2) 構造が簡単であり、従来の容器でも



パッキン部材の一部品を追加するだけで実施することができるので、容器がコスト高になるということが無い。  
【0025】(3)パッキン部材を確実に係止しているので、部品が脱落するという事故を確実に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】第1の実施例のキャップを閉めた状態の断面図である。

【図2】第1の実施例のキャップを外した状態の断面図である。

【図3】第1の実施例のキャップ嵌合部材の斜視図である。

【図4】第1の実施例のパッキン部材の斜視図である。

【図5】第2の実施例のキャップを外した状態の断面図である。

【図6】第2の実施例のパッキン部材の一部破断斜視図である。

【図7】第3の実施例のキャップを外した状態の断面図である。

【図8】第3の実施例のキャップ嵌合部材の斜視図である。

【図9】第4の実施例のキャップを外した状態の断面図である。

【図10】第4の実施例のキャップ嵌合部材の斜視図である。

【図11】第4の実施例のパッキン部材の一部破断斜視図である。

10

20

\*

\* 【図12】第5の実施例のキャップを外した状態の断面図である。

【図13】第5の実施例のパッキン部材の一部破断斜視図である。

【図14】第5の実施例の図12のA部拡大図である。

【符号の説明】

1、1A、1B、1C、1D 口紅等の収納容器

2 口紅収納容器本体

3 キャップ

4 ハカマ部材

5 キャップ嵌合部

6、6A、6B キャップ嵌合部材

7 筒部材

8 棒状化粧品

9 上下移動機構

10 螺旋溝

12 内筒部材

13 切り割り溝

14 皿部材

15 係合ピン

16、16A、16B、16C パッキン部材

17、17A 上部気密部

18、18A 下部気密部

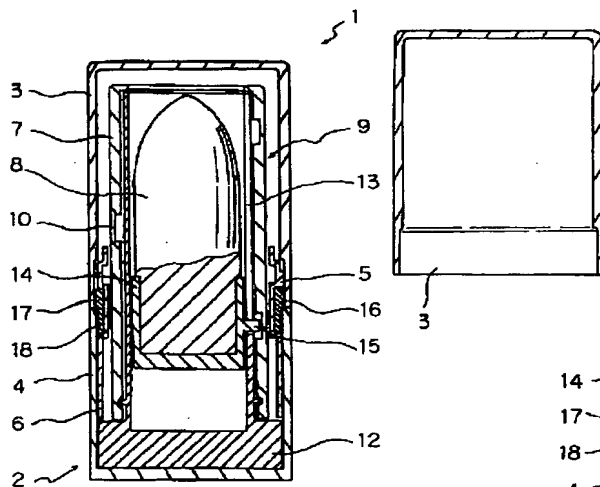
19 空隙

20 凸リブ

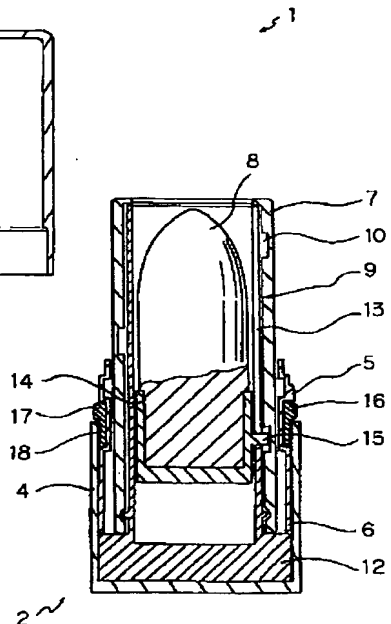
21、21A 凸状部

22 係止穴

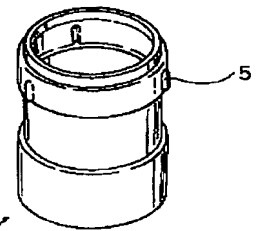
【図1】



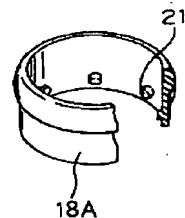
【図2】



【図3】

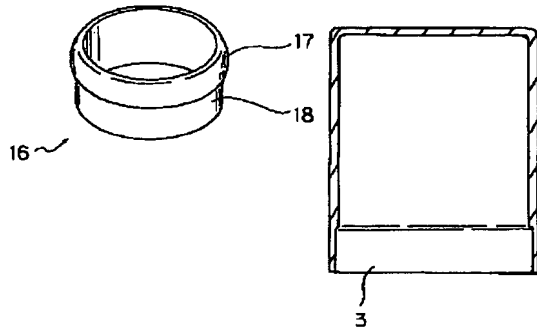


【図11】

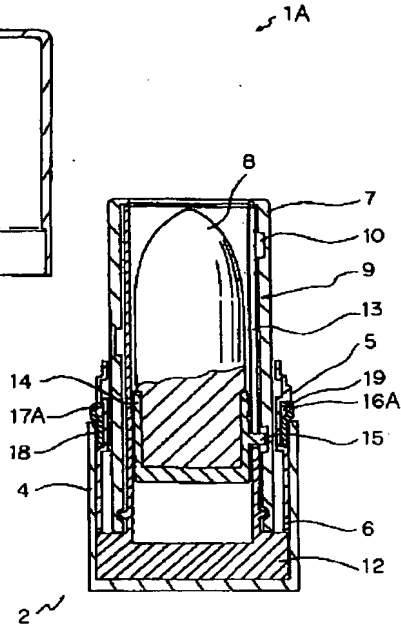




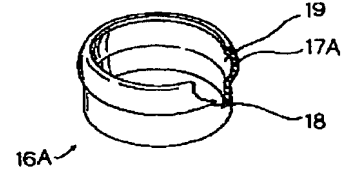
【図4】



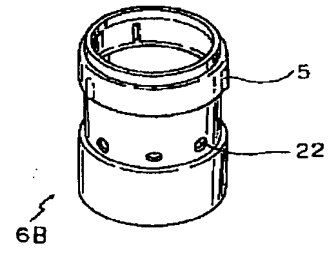
【図5】



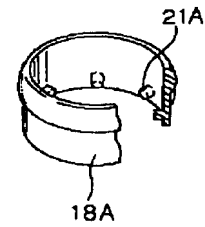
【図6】



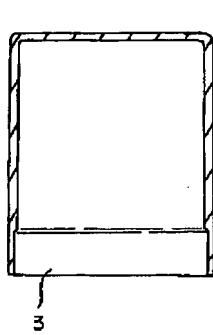
【図10】



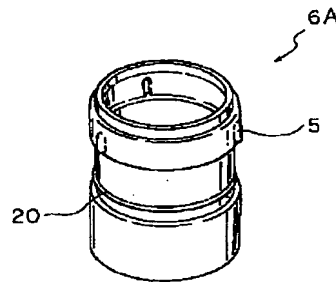
【図13】



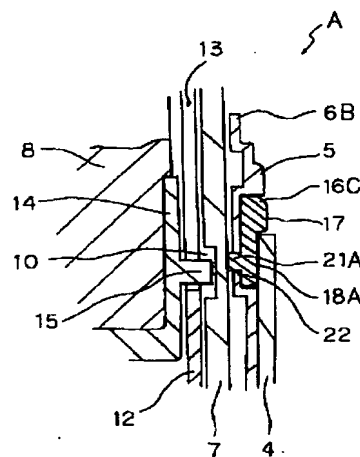
【図7】



【図8】

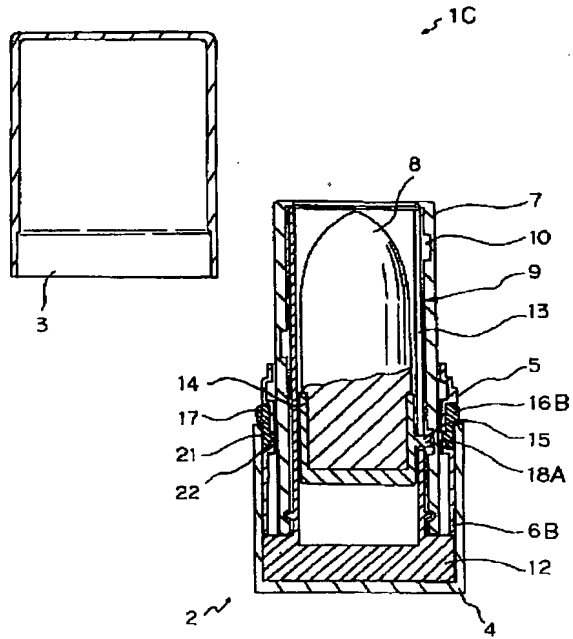


【図14】





【図 9】



【図 12】

